

令和元年度 第2回（仮称）南河内中学校区義務教育学校設立準備委員会実務作業部会  
総務部会 議事録

審議会等名 令和元年度 第2回（仮称）南河内中学校区義務教育学校設立準備委員会実務  
作業部会総務部会

日 時 令和元年9月26日（木）午後6時00分～午後8時00分

会 場 南河内中学校会議室

出席者 高山信夫 部員、伊澤行雄 部員、川俣達夫 部員、谷萩昌道 部員、  
小野寺明 部員、澤野辰徳 部員、海老原裕子 部員、塩濱弘子 部員、  
竹田昌彦 部員、塩沢建樹 部員、倉井典子 部員、近藤善昭 部員、  
田澤孝一 部員  
【欠席委員】 舘野 勝 部員、稲見有加里 部員、海老原忠 部員

市側出席者 （事務局）森口哲二 学校教育課主幹、稲葉亜希恵 同課主幹兼指導主事、  
稲見雄太 同課主幹兼管理主事、上野保久 同課小中一貫教育統括コ  
ーディネーター

公開・非公開別 （公開） ・ 一部公開 ・ 非公開

傍聴人 0人

議事録（概要） 作成年月日 令和元年9月30日

1. 開会（森口主幹）

2. 部会長あいさつ（谷萩副部会長）

皆さんこんばんは。夕方のお忙しいところ、またお疲れの所お集まりいただきましてあり  
がとございます。本日はよろしく願いいたしたいと思えます。海老原部会長に代わって進  
行していくわけでございますけれども、不慣れではありますので、ご協力よろしく願ひし  
ます。

3. 報告

（1）地域・保護者説明会の報告について

（谷萩副部会長） 報告として、地域・保護者説明会の報告について、事務局より説明を願ひ  
いたします。

（森口主幹） [資料1 南河内中学校区義務教育学校の整備に関する地域・保護者説明会結果  
報告書] [資料2 義務教育学校の創設に冠する地域・保護者説明会次第] [資料  
3 南河内中学校区義務教育学校の創設に係るアンケート結果] について説明

（谷萩副部会長） 今のご報告、また前もって送っていただきました資料等についてのご質  
問、ご意見等ございますか。

それでは、このことにつきましては、ご質問がないということで進めさせて  
いただきます。

（2）新校の校名アンケート結果について

（谷萩副部会長） 次に、新校の校名アンケート結果について、事務局より説明を願ひし  
ます。

(森口主幹) [資料4校名アンケート結果概要][資料5(仮称)南河内中学校区義務教育学校の校名アンケート結果(類型別)][資料6(仮称)南河内中学校区義務教育学校の校名アンケート結果]について説明

(谷萩副部長) 内容についてはこの後検討します。まず、アンケート結果についてのご質問、ご意見はございますか。アンケートの取り方というのは、第1回のところで、部員の皆さんのいるところで行われたと思うのですが、その点についてはよろしいでしょうか。アンケートの取り方及び結果については、ご承認いただいたということにします。

次に移ります。

#### 4 議題

##### (1) 新校の校名について

(谷萩副部長) 議事に入ります。先ほど、校名アンケート結果について事務局より報告がありました。校名決定までの今後のスケジュールを確認しておきたいと思います。事務局より説明をお願いします。

(田澤部員) [資料7実務作業部会等開催スケジュール(詳細版)]について説明

(谷萩副部長) 今日は、アンケートの結果を見ていただきながら、ある程度の候補に絞っていくということになるであろうと思います。今回の検討と、次回11月8日予定の検討会で候補を絞り込み、準備委員会へ報告することになります。その際には、総務部会としての候補の順位付けと、理由付けがされての報告となります。今日は何点かに絞り込むということで、お手元の資料をじっくりとご覧いただきながら、どのような方法で絞り込めばいいのかということをお考えいただきたいと思います。まず、今日初めて目にするアンケート結果ですので、よく見ていただき、アンケートを寄せてくれた方の気持ちとか、全体の数字とか、いろいろあろうかと思えます。10分くらい時間をとりますので目を通していただきたいと思います。後でご意見をいただきながら、絞り込んでいきたいと思えます。

#### アンケート結果閲覧

そろそろ時間になりましたが、ご意見をいただきたいと思えます。拝見したところ、やはり、地元の人たちは学校名には非常に思いがあるということで、細やかな心でのご意見があったと思えます。それから、学校名についてこれから将来のことを考えて学校名を提案してくれたもの、全体として固いやわらかい、子どもへの配慮等いろいろあったと思えますが、それらの思いをくみ取りながら、何かご意見がありましたらいただきたいと思えます。それから、絞り込むことについては、その後検討していきたいと思えますけれども、このアンケート結果について何かご意見がありましたらお願いします。

(竹田部員) 応募総数について、応募率3.99%について、妥当であったのかどうか、市はどのように考えていますか。

(田澤部員) 絹義務教育学校は1400軒ほどのアンケート用紙を配布して、100件に満たなかったということを聞いています。本市はその倍近くの件数であるの

で、200件くらいはいくと聞いていたので、最初の想定よりは少なかったと思います。実際に、各学校でも児童生徒に呼びかけていただいたり、自治会長が各戸を回って回収して下さったところがあったりということでしたので、もっと多くの応募を期待しました。しかし、この数字は仕方がないかと思っています。

(竹田部員) 本校で校名についてや歴史コーナーに残すもの等について話し合うために、夏に学校運営協議会を開催しました。その時に、協議会の委員の方から、校名決定についてや、ここに至るまでの経過などの周知が足りていないのではないかという意見が出ました。8月末、締め切り間際の時期であったにもかかわらず、校名を募集していることを知らないという家もあるということでした。要するに、この後いろいろ決めるにあたって、実務作業部会などでやっていることが、あまり周知されなくて、実はこう決まりましたといった時に、しっかり説明責任が果たせるように、途中経過をしっかり地域住民に伝えていただきたいということです。思った以上に知らない家庭があります。それがないと、できあがってしまってからとか決まってしまってから云々言う人が出てきてしまいます。周知をしっかり行って、決まった後にごたごたが起こるということがないようにしてもらいたいと思いました。

(谷萩副部会長) こういう事態であることを知らない人があるということでしょうか。今のご意見に対して何かありましたらお願いします。

(伊澤部員) この数字にびっくりしました。こんなものかなと思いました。まずはそれが第一印象です。私自身、いろいろな席で話したりしていたにもかかわらず。いずれにしても、これで決めてしまっているのかなと思います。寂しいところもあるし、もっと関心をもってもらいたいと思います。かといって追加募集をするのかといったら、また別の問題が起きてくるので、10月の説明会で、これでいいのかと問いかけをするべきかと思います。また、その場で、もっと、何か別の意見があればいただきたいと問いかけてもいいのではないかともあります。

(田澤部員) 多数決ではないということを以前から言っていました。こちらにお集まりの皆さんは各学校、各地域の代表で集まっていますので、これをもとに皆さんで案を出し合って、またはここに出ているものの中から決めていくということで、やっていっているのではないかと思います。周知については、説明会等でも今後やっていきます。途中経過を示して、今この状態だという所は周知を図って行って、当然ご意見をもらう機会がありますので、その内容についてはまたこちらにお戻しして考える一つの参考にしていただければいいと思います。応募数としてはちょっとという部分はありますが、私たちの方でも自治会長にお願いして配布していただいた他に、自治会未加入もしくは新しく引っ越してきた人を考慮して、アパート等を回ってポスティングして参りました。それでもご存じない方もいたとは思いますが、ある程度は目に触れるようにしてきましたので、応募する、応募しないは自分たちの判断の結果なのかなと思います。勝手な解釈かも知れませんが、集まる数は少ないけれども、それが皆さんの意志なのかなという捉えをしております。

(谷萩副部会長) 今のお話で、今回のこの結果を見て、この部会である程度絞り込みを

し、地域説明会で説明する、そこで意見を求める、11月8日の部会で、地域説明会で上がった意見を伺って調整するということですか。

(田澤部員)　そうです。それで、例えば、今日決めるということではなく、皆さんの意見を聞きながら、本日話し合ったことを地域説明会に示して意見をもらい、絞るための参考材料にするということもできると思います。それには、ある程度は絞っておかないと、難しいのかなと思います。

(谷萩副部長)　ここで話し合った結果をそのまま説明会に出して意見をもらうということになると、説明会が10月末ですから、現在地域説明会からの意見待ちですという理由で、この後の10月10日の準備委員会とか、10月21日の推進協議会とかには回らないことになりますね。

(田澤部員)　そうすると、進行が難しくなるので、総務部会としての方向性を示して地域に諮った方が、地域の方も意見が言いやすいのかなと思います。

(谷萩副部長)　この結果を参考に絞り込んでいかどうか、ここは大切なところですので、部員の皆様のご意見をお一人ずつお聞きしたいと思います。

(高山部員)　自分としては、106点集まったということを知って、全然集まらなかったというよりは、これだけ関心をもってくれたと思っています。結果としては、よい方向に捉えています。

(川俣部員)　説明会の集まり方を見ても、関心が薄く、教育委員会お任せということかと思えます。お任せの人が多く、これだけ集まったのはいい方だと思います。校名募集の話はしていますが、会話等から、意外と皆さんお任せという方が多いように思えます。そういう雰囲気だと思います。

(小野寺部員)　校名募集については、皆さんに話していますが、皆さん校名に執着はあまりないように思えます。それよりも、学校が今後どう動くのかに興味がある方が多数だったので、校名については、現在応募があった件数の中から意見を出し合うことがよいと思います。あとの方々はお任せという感じと捉えていいのではないかと思います。

(澤野部員)　応募総数が106点ということで、関心が薄かったのかなとは思いますが、私も今回のアンケートの結果を見て、結局、後でのごたごた言う方がいたとしても、このアンケートの総数でやっていった方がいいと思います。なぜなら、どういう形になっても文句を言う人は言うからです。アンケートの中で、理由などしっかり書いてある人もいました。そういうことも含めて、この中でやっていければと思います。

(海老原(裕)部員)　私もこのまま進めてもいいと思います。

(塩濱部員)　もう一度アンケートをとっても同じくらいかと思えます。関心があって回答した人、思いをもって回答した人の気持ちを汲んで、この中で検討していけばよいと思います。

(竹田部員)　先ほど意見を述べたのは、もう一回やって下さいと言っているのではなく、説明責任が果たせるように周知をしっかりとしてほしいということ、皆納得してもらえるような周知をしてほしいということ述べました。自治会長が自治会便りを回しても、見ずに回してしまうご家庭が多いと伺っています。話をしても同じようです。そういう状況で、自治会長にお願いすれば全部OKだというのは、違うのではないかと思います。やはりそういったところがどの程度まで

周知できるかということが大切なのではないかと思います。新しい学校を作る、新しい校名が決まる、学校の歴史を考えると、学校が生まれるということは大変なことだと思います。そういう大切なことを、委員会だけに任せるのではなくて、地域の皆さんにはもう一度考え直していただきたいというか、そういう思いをもって学校を経営したり運営をしたりしてほしいと思います。

(塩沢部員) 全戸に配布して応募がこの数でしたが、実際に周知ができたかどうかということとはつかみづらと思います。今回通知をしたり自治会を通したりということでやっていたと思うので、地域説明会では、途中経過ということで、更に伝え方を工夫していくとうまく周知ができるかだと思います。

(倉井部員) 中学生にも新しくできる学校に興味をもってもらいたいと思いますし、ふるさとを思う気持ちを育てていきたいと思うところですが、なかなか子どもたちにそういう話をする機会もなく、今までできてしまいました。こういう校名募集はいい機会かなと思いつつ、私自身もあまり周知することができなかつたなと感じました。現状としては、締め切り間近になっても、回収箱にわずかしか入っておらず、無くした人は取りに来るよう放送を入れたり、市教委でも締め切り間近の時に一斉メールを流していただいたりしました。それで集まった数がこれだったかという思いで少し残念には思います。まだまだ地域の皆さんや保護者、子どもたちに、みんなで作っていこうよということは伝えられなかつたと思います。

(谷萩副部会長) P T Aの方は、結構集まったという。これで進めていくということではよろしいですか。ある程度絞り込む。その絞り込むまでの経過は地域説明会できちんと説明してもらおう。そこでいろいろ意見が出るかと思いますが、その意見はきちんと取り上げて、次回のこの部会で報告してもらおう。実際今からこれを改めてアンケートを取り直すということをする、間に合わないですよ。時期が決められているから、後ろが決まっているから、いい加減でいいやという意味ではないけれども、校名の決定が、全てに関わってくるということで進めていかなければなりません。アンケートをとる時に、児童生徒にという声もあり、回収率を上げるにはこれが一番簡単だということでした。しかし、地域、学校区の皆さんの意見を取り上げるために、全戸に配布しようという声が上がって、今回のアンケートになったと記憶しています。その結果がこれでありました。出た結果の中で、ある程度絞り込む。その説明を地域の人に十分にさせていただく。これはぜひともお願いしたいことです。それで上がってきた意見を次の部会で検討するというところでよろしいでしょうか。

では、どのような方法で、何点ぐらいに絞り込むかをお聞きしたいと思います。

(竹田部員) 絹義務教育学校は何点ぐらいに絞ったのですか。栃木市の中央小の時は2点に絞りました。

(上野C O) 今、手元に資料がないのではっきりしませんが、いくつか覚えている限りでは、全国では、何点かに絞って上の委員会に報告していますが、5点の所や10点の所もありました。5点ぐらいが多かったかだと思います。

(谷萩副部会長) 絞り込みはまたこの次もあるわけだし、地域からの意見もいろいろお聞きするというので、ある程度の数に絞り込んではいかがでしょうか。先ほど

5点という話がありましたけれども、5点くらいに絞り込んで意見を聞くと、地域の方も意見が言いやすいのかなと思います。今日はここで5点に絞込む。それを地域で説明してもらおう。地域の意見を伺う。ということで、5点でよろしいでしょうか。5点に絞込む方法はどうしたらいいでしょうか。部員の方の意見を反映できるような絞り込みの仕方について、ご意見を伺いたいと思います。

(田澤部員) まず、ふさわしくないかなというものを削ってはどうかと思います。

(谷萩副部長) 地域等に説明する時に、良い点を言うならば言いやすいが、その逆は言いにくくなると思いますが。

(高山部員) まずは、多い順にすると地域の意見も聞き入れたことにもなり、同点のものを話し合えば、丸く収まるのではないかと思います。

(谷萩副部長) 今のご意見はわかりやすくよいと思いますが、そうすると、アンケートの結果だけをもとにすることになり、集まってご意見をいただく必要はなくなると思います。お一人お一人のご意見をいただきながら5点に絞るとというのがよいのではないのでしょうか。各部員から2～3点あげてもらい、上から5点というのであれば、各委員の意見が反映されるかと思いますがどうでしょうか。その結果が今回の結果とは全く違ったとしても、その時には、総務部会でアンケートの結果を大いにくみ取りながら検討した結果、このような5点が選ばれましたと、地域の説明会で説明しやすいのではないかと思います。

複数出していただいて、集計する。それでよろしいでしょうか。

そういった記入する用紙はありますか。

(森口主幹) 準備はあります。

(谷萩副部長) 一人何点ということで出していただいて、すぐに集計してもらおう。それでよろしいでしょうか。

(田澤部員) 資料のまとめ方として、2番の「南河内義務教育学校」について、ひらがなや「南河」と約したものも同様と考え、一つにまとめてしまいました。一緒にするか、一つ一つ分けて考えるか、どちらにしたらよいでしょうか。

(谷萩副部長) 2番だけでしょうか。

(田澤部員) そうです。

(谷萩副部長) では、番号と学校名、両方書いてもらうようにすれば、間違いはないかなと思います。番号と名前、それでよろしいでしょうか。それでは、投票用紙を配っていただき、資料6をもとに記入していただきたいと思います。

(森口主幹) 事務局の方で用意した用紙には5点まで書けるようになっておりますが、お一人何点にしますか。

(高山部員) 5点以内ということではないですか。

(谷萩副部長) それだと集計に偏りが出てしまう恐れがありますので、全員が同じ点数を選ぶということで、3点に絞って下さい。

(竹田部員) 多いから決まるということではないということは確認しておいた方がいいと思います。多いから多数決で決まってしまうということではなくて、部会の中で多いのはこの辺だということを示す。多数決になってしまうというのは違うのではないかと思います。

(谷萩副部長) 多いからというわけではないといっても、5点に絞る時には、やはり上

から決めなくてはならないでしょう。

(竹田部員) その数字だけでやっていいのかなと疑問に思います。それはあくまで資料としてということであり、上部の委員会に委ねるということになってくるかと思えます。

(谷萩副部長) 出た結果のことをよく決めておかなければならないということですよ。

(竹田部員) 今回を含め、話し合う機会が2回あるのですよね。もう1回あるから、その数字を抜きにして、理由を付して、再度話し合いの上で校名を決定する流れになるのではないかと思います。

(谷萩副部長) それはいつの話になりますか。

(田澤部員) 11月8日に、この部会としての皆様からの案として、何点かを準備委員会の方に上げるということになります。例えば、今回何点かで絞ったものを更に話し合いの中で絞り込んでいっていただくということになるかと思えます。その際には、どうしてもこの部会でこれを押したいというものを、ある程度は出しておいて、意見を付して準備委員会の方へもっていくということになるかと思えます。

(谷萩副部長) では、今日は3点ずつ出していただいて、集計した結果を見て、どこまで、どういう具合にして絞ったらいいかということをもう一回考えるのか、それとも、ちょっと点数は低いけれども、これを候補にあげたらどうだというあたりをいろいろな意見を入れながら、皆さんで考え、絞り込んでいくのか。いずれにしても、5個前後絞り込んで地域にもっていくためにも、それから、準備委員会にあげていくためにも、この部会である程度のはっきりした候補を出しておかなければいけないかなと思えます。ご意見をいただいて、上から5番目までということではなくて、ご意見をいただきながら絞り込んでいくことよろしいでしょうか。

(竹田部員) 今日はどこまでやるのですか。

(田澤部員) 今日は、ある程度ここで5点まで絞り込んでいただいた方が、委員会の方に持って行きやすくなるかと思えます。この部会としての見解をもち、上部の委員会への報告や地域の人への説明もしていければと思えます。

(谷萩副部長) それでは3点書いていただいて、上から5番目を見ますけれども、話し合いのもと入れ替わることもあるということで進めたいと思えます。そこで5点に絞り込みたいと思えます。決め方をしっかりしておかないと、投票結果が出てからどうするというものでは物事が決まらないので、よろしくお願ひします。

(小野寺部員) 今日、欠席している方がいますがどうしますか。

(谷萩副部長) どうしますか。

(田澤部員) 致し方ないので、まずは、この場にいらっしゃる方でまとめていっていただきたいと思えます。

(竹田部員) 次の会の終わりまでに決まっていればいいのですよね。

(田澤学校教育課長) そうです。

(竹田部員) 今日、いきなり5点に絞るといっても時間がないのではないのでしょうか。

(近藤部員) 今後のスケジュールによるかと思えます。この後10月10日に準備委員会が

あって、その後教育委員会があって、21日に推進協議会がありますね。10月10日に間に合うように5点絞ったものを出すか出さないかということになると思います。事務局の案としては、途中経過であるとしても10月10日の準備委員会に出したいという思いがあると思います。

(谷萩副部長) 日程がつまっているようなので、できれば今日ここで絞り込みをしていきたいということですね。では、そういうことでいいですか。3点に絞り込んで、書いて提出していただいて集計する。集計結果の上から5点は挙げるけれども、話し合いの内容によっては、5点の中に入れる、または入っていたけれども外す。そのようにして5点に絞り込んでいきたいと思います。委員の皆さんの意見が反映するようにしましょう。では、よろしいでしょうか。  
では用紙を配って下さい。

用紙の配付 各部員、3点記入 回収・集計 集計結果の発表

(谷萩副部長) この結果について、お一人ずつご意見をお願いします。

(高山部員) 多い順に5つ残してほしい。40番の「ゆうがお小中学校(義務教育学校)」というのはどういう意味なのでしょう。

(森口主幹) ご本人様を書いたとおりを載せております。優先は「ゆうがお小中学校」であり、あとに「義務教育学校」をつけるという、それもありということも含めて投票なさったということかも知れません。

(高山部員) 2票入っているのですが、残す場合には( )は消した方がわかりやすいのではないのでしょうか。

(谷萩副部長) 「ゆうがお小中学校」で考えるということですね。

(伊澤部員) だいたい良いと思っていたものが入っていました。5点を選ぶ際、多い順から5点ではなく、1票でも候補として検討していくべきかと思います。

(谷萩副部長) 1票でも入れたいものがあったら検討するということですね。具体的なものというものはあるのですか。

(伊澤部員) 11番です。

(川俣部員) だいたい思った通りです。小さい子にとっても、あまり長い校名だと覚えにくくと思いました。

(小野寺部員) アンケートの理由などで、小中学校が書きやすいというのがあったので、「小中学校」というのは良いのかなと思いました。他の選択肢も含めて報告することがよいと思います。ただ、この順序で決めていくと「下野」というのが消えてしまうと思います。「下野」が入った名前への投票も4票あるので、選択肢の一つとして「下野」も考えてもらった方がいいのではないかと思います。

(澤野部員) だいたい思ったとおりの結果でした。アンケートの理由に「南河内」を残したいという方が多かったのですが、ここはどうしても「南河内」を入れなければと思いました。また、「学園」というのも新しい感じで、1年生から9年生までのまとまりを感じるものでした。

(海老原(裕)部員) 例えば、「ゆうがお小中学校」に決まった時に、この地域の人はいいかもかもしれませんが、栃木県全域で考えると、「ゆうがお」より「南河内」の



方がすっと入ってくる気がします。中学校には、関東大会、全国大会で活躍している部活動もあり、「南河内」の知名度は高いのですが、「ゆうがお」自体知名度が低いので、「ゆうがお小中学校」は5つの中に入らなくて良いと思います。

- (塩濱部員) アンケート理由にあった「南河内」を残したいという思いと同じように、「下野」「ゆうがお」についても理由をつけて出していただいたので、残しておいた方がよいと思います。
- (竹田部員) 小学1年生が簡単に書けること、南河内第二中があることから、「南河内」を残した1番の「南河内小中学校」がよいと思います。あとは、上位5点で良いのではないかと思います。29番は「下野市立下野市小中学校」とかぶるので検討した方がよいかと思います。
- (塩沢部員) 応募総数106点の内「南河内」が6割入っているので「南河内」でよいと思います。
- (倉井部員) 「南河内を残したい」という意見が64人もいます。全部で106人ではありますが、何か思いがあつての投票だと思えます。自分も「南河内」を残したいと思えます。
- (谷萩副部会長) 皆さんのご意見からは、「南河内」は尊重した方がよいだろうということでした。そうすると、5番目までの中では、「南河内小中学校」「南河内学園」「南河内義務教育学校」4番目には2つあって、「南河内義務教育小中学校」「ゆうがお小中学校」のようになりました。先ほどご意見をいただいた中に、「下野」が一つも入っていないので、考える必要があるのではないかと、というお話も出ました。また、「ゆうがお」は外部の方に向けてふさわしいか、ふさわしくないか、というご意見もありました。その点について、皆様からご意見をお願いします。
- (高山部員) 現在干瓢農家が減っているので、「ゆうがお小中学校」というのは、除外で良いのではないかと思います。「下野」はかぶっても差し支えないと思えますが。
- (谷萩副部会長) 先ほどの話は、前に「下野市立」と付くと「下野市立下野市小中学校」となってしまうややこしくなるということです。そういう意味で、「下野市小中学校」を省きたいと思えます。「ゆうがお」は将来のことを考えるとよくないのではないかとご意見がありました。「ゆうがお小中学校」を外して「下野小中学校」を入れるということではよいですか。
- (田澤部員) 「ゆうがお」について、対外的に見た時に知名度の問題ということはあるのですが、返って「干瓢」「ゆうがお」を世間に知らせるには「下野市立ゆうがお小中学校」もありなのかなと思います。今後市民の皆さん方に候補を示す時に、ここで全部絞ってしまうというよりは、「下野」や「ゆうがお」というある程度意見が出たものでいくとよいのではないかと思います。「薬師寺」や「吉田」という校名については、1票も入っていないので、申し訳ないけれども候補に入れないということではよいと思えます。
- (谷萩副部会長) そうしますと、どのようにしますか。「下野小中学校」を入れて、「ゆうがお小中学校」というものもありましたと報告しますか。
- (海老原(裕)部員) 私立校だとあり得るが、公立校で地名でない校名の学校は県内にあ

るのでしょうか。

(谷萩副部長) 高校ではありますが、義務教育の学校では地元で根ざしたという意味か、なかなかありませんね。

(小野寺部員) 「ゆうがお」が数点あるのでまだ絞る段階であれば残し、他の人たちにも判断を仰ぐのもよいか。「ゆうがお」を冠した学校名をこれだけの人が出してきたということを考慮すべきではないかと思います。ここで、まるきりなくしてしまうのはどうかと思います。

(谷萩副部長) ということは、5つの中に入れる、それともこういう校名もありましたと提示する、どのようにしますか。

(竹田部員) 11点もっていけばよいのではないのでしょうか。どうですか。

(田澤部員) 部会の総意ということであれば、問題はないと思います。

(谷萩副部長) はじめに5つに絞り込むということなので、それに従っていくべきだと思います。上から5番目まで入れて、皆さんからいただいたご意見を尊重するという意味で、1票のものも報告するというところでよろしいですか。

(田澤部員) 確認させていただくと、南河内小中学校と南河内学園と南河内義務教育学校と南河内義務教育小中学校とゆうがお小中学校、そのほかに1票ずつ入った候補についても報告するというのでいいですか。先ほど出ました29番の「下野市小中学校」も1票としてそのまま報告することでもいいですか。

(谷萩副部長) よろしくお願ひします。熱心なご討議、ありがとうございました。おかげさまで方向が定まりました。ありがとうございました。

## (2) その他

(谷萩副部長) その他のところで、事務局から何かありますか。

(近藤部員) 基本設計等についての現状報告。

(送迎について。防犯対策について)(地域説明会でも説明したい。)

(田澤部員) 次回は、歴史コーナーも議題として取り上げる予定です。

(谷萩副部長) 以上で閉じさせていただきます。